

01/こんなに可愛いアシ
カとご対面できる
02/キャンプサイトでは、
シーカヤックなども楽しめる



バハカリフォルニア・ラパスは世界遺産に登録された、豊かな自然が広がるエリア。
アシカと遊べる世界でも珍しい海で、ハンマーヘッドシャークやジンベイザメなどの大物も勢揃いしている。
ダイビングスタイルは、キャンプステイ、デイトリップ、ダイブクルーズと様々で、
自分の好きなスタイルでダイビングホリデーを楽しむことができる。
さっ、もうすぐシーズンインするラパスへ Let's Go and Dive !

メキシコ・
ラパスで
陽気に
ダイビング!

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

キャンプサイトから井戸に行くまでの道のり。
こんなワイルドな景色が広がっている

Photo&text : Yasuaki Kagii
Special thanks : World Tour Planners,
Baja Paradise, Baja Diving & Service
Design : tomato

Information Link  関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



01/ダイビングの後、みんなで井戸に水浴びに行く 02/高台から見たキャンプサイト

ESPIRITU SANTO ISLAND

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer

03/テント内はこのように感じて広い

04/ランチタイムはみんなでワイワイとメキシコ料理に舌鼓



ラパスは世界遺産に登録された自然豊かなエリア。その豊かさは、もちろん海ばかりでない。陸上の世界も本当に素晴らしい。その海と陸の自然を満喫するのに、お勧めなのが、キャンプステイのダイビング。いつもお世話になっているバハパラダイスのキャンプ地は、エスピリット・サント島（聖霊の島）のカンデレロビーチにある。大きく静かな湾の最奥部に位置し、サボテンの生えた赤茶けた山に囲まれている。キャンプと言っても、サバイバルを楽しむような感じではない。大きなテントに備え付けのベット、専用シェフにシャワー、トイレもちゃんと用

意されている。

朝目覚めてから夜を迎えるまで、太陽の位置が移動するだけで、どんどんと表情を変えていく自然の中の宿泊施設。。ダイビングを終えて、キャンプサイトに帰ってきて、セルベッサ（ビール）を飲みながら迎える夕日は本当に美しい。そして、夕食時には慌しく星たちが瞬き始める。少し心配なのは、蚊やサンドフライの存在。雨上がりや風の無い日は多く発生する。キャンプサイトには、メキシコ製の良く効く虫除けや蚊取り線香も用意されているが、必ず長袖、長ズボン&靴下は忘れずに用意したい。

エスピリット・サント島（聖霊の島）のカンデレロビーチにあるキャンプサイト！ ここでラパスの自然の1部になる!?

昨年、1700年代にスペイン人に掘られた井戸に向かった。山の裾野にあり、キャンプサイトから歩いてすぐの場所にある。そこで、思いっきり水浴びを楽しみ、自然の中で遊ぶ喜びを体いっぱい感じた。ラパスの自然の魅力を満喫されたい方は、デイトリップまたは、ダイブクルーズに1泊か2泊のキャンプステイすることをお勧めしたい。



05/ラパスの夕日はとても美しい

06/シオマネキなどの生き物観察も面白い



アシカやハンマーヘッドシャークなどの大物ダイブと同じくらい楽しめるポイントがキャンプサイト前の浅瀬にある。1日のダイビングを終え、キャンプサイトに戻ってくると、エアが残ったタンクでそのエリアを潜ることができる。ここでは、なんとと言ってもシグナルブレニーに注目。背が立つほどの水深に、1匹ではなく、小さな幼魚からチョークサイズの成魚まで、砂地にヒョコヒョコと何匹もいるのが確認できる。少し大きな岩の表面に、まるでバショウカジキの小型版のようにバジャ!バジャ!と背びれを広

げる黒いシグナルブレニーがいた。近くにライバルがいる時は、お互いの体色を白くさせ、大きく口を開けては、相手に威嚇をする。結局、2時間近く、彼らの傍で観察と撮影を行った。また他の日は、でかジョーが、頭上を通過する小魚を捕食するシーンに出くわした。何度も巣穴から垂直に飛び出してトライを続け、随分と失敗した後にやっとゲットしていた。

キャンプサイトに滞在すると、こんな素敵なシーンに遭遇することができる。

可笑しな生き物がいっぱい!
キャンプサイト前の浅瀬ダイブ!



ESPIRITU SANTO IS

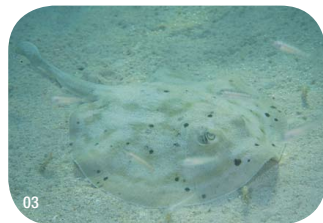


01/ キャンプサイト前からエントリーするゲストダイバー

02/ セッティングは水際で行う

03/ 固有種の Cortez Round Stingray

04/ 威嚇し合うシグナルブレニー



05/ 大きな胸鰭を広げるシグナルブレニー

06/ 小魚を捕まえた(でかジョー)

07/ 巣穴を作る(でかジョー)

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link <http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



「ロス・イスロテス」は長年、
ダイバーとカリフォルニア・アシカが遊んできた場所
アシカたちもダイバーと遊ぶのが大好きだ!



こんな表情で接近されたら、嬉しくて涙がでちゃう!

LOS ISLOTES

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link  関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



LOS ISLOTES

カリフォルニア・アシカたちは本当に可愛くて、ダイブタイムを忘れてしまうほど。
一緒に遊んだり、寝ている姿を眺めたり
野生の生き物とは思えないほどのスキンシップを楽しむことができる!

ラパスの代表的なポイント「ロス・イスロテス」。エスピリット・サント島の沖合いにあるこの無人島は、海鳥の糞で雪化粧され海上でも一際良く目立つ。その無人島に約350頭のカリフォルニア・アシカがコロニーを作って生息している。島にボートで近づくと、まずは、「うお! うお!」という泣き声で出迎えてくれる。ペリカンなどと一緒にアジアの親子、カップル、赤ちゃんが岩場に寝そべる姿が、なんともかわいい。

エントリーして島に近づいていくと、すぐにアシカたちが泳いでやってくる。「ビューーン!」という感じで頭上を泳ぎ去る。そのスピード感にまず驚かされ、そして「ラパスの海にやって来た!」という実感が喜びとして込み上げてくる。ガイドさんにアシカの赤ちゃんが手をあま噛みしてくれる、とっておきの場所に連れて行ってもらおう。岩の下の隙間や大きな穴の中では、数匹のアシカたちが、グルグルと回りながら、私たちの登場を待ちわびている

(?)。早速、手を差し伸べると、アシカの赤ちゃんがあま噛みをしてくれた。最初はお互いに、様子を見ながら遊んでいるが、どんどん慣れてくると、まるでムツゴロウさんと動物たちのような熱い? 関係にもなれてしまう(笑)。他にも野生のアシカと遊べる海はあるが、ラパスの海は特別なように思える。ここは、長い年月をかけて、アシカとダイバーの距離がどんどん近くなっているように思える。だから、ラパスを訪れるダイバーは、「ロス・イスロテス」にしかない忘れられない思い出をで作ることができるのだと思う。

また、「ロス・イスロテス」はマクロの生き物も充実したポイントである。ブルースポットジョーフィッシュ、でかジョー。そして、ギンボの仲間やウミウシなども見られる。1日、3本潜っても全然飽きることのない本当に素敵なポイントである。



01/こんな風にスキンシップを楽しむことができる

02/寝ているアシカにゆっくり接近

03/フィンを取ろうとするお茶目なアシカ



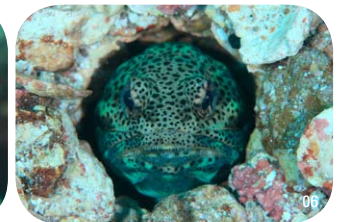
03



04



05



06

04/婚顔色のブルースポットジョーフィッシュ

05/キングエンジェルフィッシュの可愛い正面顔

06/脱みに迫力のある(でかジョー)

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link 関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



01



02

01/エルバホで大物を見た後に記念撮影!?

02/こんなウツボの群れは見たことがない!ちょっと怖い……

03/産卵床を襲う固有種の魚たち。その様子もカラフルだ



03



EL BAHO

大物 N01ポイントの「エルバホ」で、ハンマーヘッドシャークを狙う!

ラパスN01の大物ポイント「エルバホ」。海底に3つの水中山脈が連なり、そのダイナミックな地形の上をダイビングしていく。このポイントの目玉は何といっても「ハンマーヘッドシャーク」。頭がとんかちの形をした奇妙なサメの一種だ。エルバホ及び、その周辺では、ハンマーヘッドシャークの群れが住み着いているとガイドさんが教えてくれた。アンカーロープ沿いに潜降した後、ガイドより浅い深度をキープしながら、泳いでいく。ガイドは水深20mくらいを泳ぎ、下に現れるハンマーヘッドシャークを目視しながら進んでいく。付いて行くゲストは、水深18mよりも浅い深度をキープする、と言っても潜水時間が45分ほどで、平均水深がどうしても深くなる。水深、残圧、無限圧潜水時間など自分でしっかり管理したい。

ハンマーヘッドシャークの出現は、突然やってくる。音に敏感なサメなので、見つけたガイドの合図もジェスチャーのみ。ガイドが指差す方向にすぐさま反応する。海底を泳ぐハンマーヘッドシャークは単体、何匹かの群れ、またはハンマーリバーと形容されるくらいの川のように流れる大群が泳いでいる。群れで泳いでいる場合は、水深40mほどを泳いでいることが多く、見下ろす感じになることが多い。数匹のハンマーヘッドシャークの場合は、ちょうど目線と同じくらいの水深でも見られることが多い。また、単体の場合は接近してきることもある。ハンマーヘッドシャークの他に、カツオの群れやカジキを目撃した。また、マンタやジンベイザメと遭遇の可能性もあるドキドキの大物ポイントでもある。



05

04/ハンマーヘッドシャークの群れ。この写真を撮影した深度は約45mだった……

05/いきなり現れたマンタ。スマイルフェイスが印象的だった

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link  関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



01

LA RETNA



02

01/まるで虹のように海の中で、メアジの群れがアーチ状になった

02/フエダイの群れが大きな球体となった（スワニーリーフ）

“女王”と言う名の「ラ・レイーナ」で、
無尽の魚群に囲まれる!

鉄塔のある小さな岩礁に15頭ほどの小さなアシカのコロニーを持つ「ラ・レイーナ」。スペイン語で“女王”という意味の素敵なネーミングを持つ。目玉はなんと言ってもメアジの一種の群れ。毎年、ダイバーで賑わう6～11月には、万を超す雲のような大きな群れが海中に浮かんでいる。その様子は一見の価値ありで、まず、全体を見て、驚き、そして群れに包まれて、至福の時を迎える。また、このポイントは、岩礁にぶつかり座礁した沈船が水中にバラバラになって落ちている。プロペラや大きなタンクなどがあり、それを眺めながら水中を漂っていると、まるで、近未来の海へやって来た感覚になる。興味深いポイントでもある。また、この他にも圧倒的な魚群を誇るスワニーリーフや沈船のファミンなど、ポイントもバラエティーに富んでいる。毎日潜ってもラパスの海は何かしらの特別な思い出をプレゼントしてくれる。



03



04



05

03/小さくてもよく目立つブルーバンデッドゴビー
04/小さなサンゴの殻を背負うヤドカリ
05/ブルーアンドゴールドスナッパーの群れ
06/ラ・レイーナに鎮座するプロペラ



06

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link  関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



SAN FRANCISQUITO IS LAS ANIMAS



01/ジンベイザメは、ダイバー憧れの魚。ラパスでは時折、湾内に居着くこともある

02/砂地の上でポーズを決めるアシカたち

03/ギンガメアジは1匹1匹サイズが大きい

04/ダイブクルーズ船「NARVAL（ナルバル）」でラパスの海を巡る

ダイブクルーズ船で、更に北上し、「サンフランシスコ島」と「ラスアニマス」を目指す!

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link  関連情報HPへ
<http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>

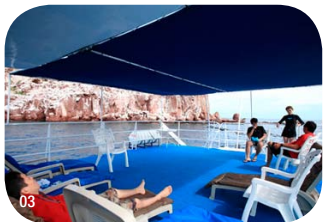


01

- 01/エントリー前にみんなで記念写真
- 02/ボリュームのある美味しいランチ
- 03/サンデッキは日陰スペースも用意されている
- 04/キャビン内の様子



02



03



04



05



06

- 05/旅の思い出を共有する
- 06/木の棒を啜らたひょうきんなアシカ
- 07/美味そうなお飯に笑顔がこぼれる
- 08/このような海上に岩が突き出たエリアでダイビングする



07

DIVING CRUISE

ラパスの海を広範囲に巡るダイブクルーズの魅力

ダイブクルーズの魅力は、デイトリップでは行けないダイビングエリアまで潜りに行けること。「エルバホ」よりもさらに北上した「サンフランシスコ島」や「ラスアニマス」まで遠征することができる。このエリアはまだダイバーがあまりエントリーしていないので、未だ手付かずの自然の雰囲気を楽しむことができる。ハンマーヘッドシャークに会えるポイントや大型のギンガメアジが群れるポイントがある。また、2年前の取材中には「サンフランシスコ島」で、いきなりジンベイザメとの衝撃的な出会いもあった。そして、船上からはイルカなどの鯨類との遭遇も高くなる。

真っ白な砂地で遊ぶアシカのポイントもあり、ロスイスロテスとはまた違った触れ合いを楽しむことができる。ダイブクルーズでは1日4本のダイビングが計画されてい

るため、より多くラパスの海の魅力に触れることができる。そして、ダイブクルーズの魅力は、ゲスト同士やガイドさんたちとすぐに仲良くなれること。1本1本ダイビングを共に経験することで、共通の話題が増え、親交を深めることができる。潜って、食べて、セルベッサ(ビール)やマルガリータを飲んで、時には踊る(?)。いつものダイブクルーズのスタイルだけど、陽気なメキシカンスタッフが洋上生活をより楽しくしてくれる。



08

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link <http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>



01



02

01/露天では貝細工のお土産もたくさんある
02/町の中央にあるモニュメント

デイトリップから帰ってきて、 夕方から夜にかけて、ラパスの町を満喫する!

基本的にデイトリップのダイビングからホテルに帰ってくるのは、夕方頃になる。それからラパスの町遊びを楽しむことになるが、お店は遅くまで開いているので、心配はない。

ラパスの町歩きは簡単で楽しい。海岸線のマリコン通りがメインのストリートで、そこを中心にお土産屋さんやレストランなど並んでいる。お土産屋さんは露天商から、アーティストの作品を扱う店舗まであり、品物も色彩もとても豊富でカラフル。同じようにレストランも屋台のタコス屋からエビ料理店、中華、イタリアン、もちろんメキシコ料理店と数多い。日本人ダイバーに人気なのは、

ASADERO Rancho Viejo (ランチョ ビエホ) というタコス屋さん。ここは有名なので、ガイドさんや日本人スタッフが必ず教えてくれるはず。ガイドさんや日本人スタッフの方が教えてくれるはず。またメキシコ産のセルベッサ (ビール) も良いが、名物のフローズンマルガリータもお勧め。大きなグラスにドン!と、ボリューム満点でサービスされる。甘くて口当たりが良いが、意外とアルコール度数が高いのでお酒の弱い方は気をつけて (笑)。ラパスの町は夜遅くまで賑わっている、最終日などは、ゲスト、ガイド共にBARに繰り出して、楽しい夜を過ごすのも一興かもしれない (笑)。



AFTER DIVING

05



06



08



09

05/クルーズスタッフと夜はBARに繰り出した!
06/様々な具材のタコスを楽しむ
07/暮れ色に染まるラパスの町
08/夜になっても通りは観光客で賑わう
09/カラフルなお店の店内 (ランチョ ビエホ)



03



04

03/レストランで美味しいメキシコを堪能することが出来る
04/ラパスの町のどかな夕暮れの時間



07

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link <http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>

お世話になった現地ダイビングサービス

BAJA PARADISE バハパラダイス

宿泊施設と一体になっているダイビングセンター。オーナーガイド、ラロと貴子さん夫妻を中心に日本人スタッフと現地スタッフが揃う。デイトリップとキャンプ&ダイブを行い、ラパスの海と自然の魅力を紹介してくれる。宿泊施設はメキシコ風の建物にポップな壁画（壁画遺跡のモチーフ）が描かれている。客室は8つ。ツインルームやトリプルルームがあり、トイレ、シャワー、TV、冷蔵庫を完備。3階から、海を一望できるパラバ（茅葺屋根）もある。町の中心街にあり、ショッピングなどにも便利。



木の温もりを感じるレストラン



01



マリコン通りにある店舗



02

01/笑顔の素敵なスタッフ、アットホームな雰囲気のダイビングセンター。写真の中央はオーナーの奥様の石田貴子さん



03

02/室内はかわいいメキシコ風
03/敷地内には、可愛いネコちゃんもいる

THE GORTEZ CLUB コルテスクラブ

〈ラコンチャ・ビーチリゾート〉に本店、〈コスタバハ〉にベースを置くダイビングセンター。ゲストは世界各国から集まる。1グループ（6名までの）の少人数制で、安全性を重視したダイビングを行う。高出力のスピードボートを使用。帰港も早く、町でのアフターダイブを十分に楽しめる。シーズン中には日本人スタッフが常勤する。ナイトロックス完備。



陽気なメキカンスタッフと写真の日本人スタッフは中澤知子さん

BAJA DIVING SERVICE バハ ダイビング&サービス

市街地から車で約20分、美しいピチリン湾に位置する宿泊施設（ホテル カンタマール）に併設された老舗のダイビングサービス。日本人スタッフをはじめ、日本語が話せるスタッフも多数いるので言葉の心配もいらない。デイクルーズはもちろん、3泊4日のダイブクルーズも期間限定で開催している。



04

04/ダイブクルーズ船〈NARVAL（ナルバル）号〉
05/真面目で陽気なスタッフが集うバハダイビング&サービス



05

06/トドサントスの町の様子はカラフルでおしゃれ



06

07/復活祭をイメージしたドクロの人形も人気



07

08/ホテルカリフォルニアが町の中央にある



08

ラパスからの帰りに、ちょっと寄り道!

ラパスからサンホセデルカボ空港へ帰る途中に、1970年代不朽の名曲が生まれたイーグルスのホテルカリフォルニアの街・トドサントスがあります。ここでは、地元のアーティストによる工芸品やお土産物などを売るお店がたくさん並んでいます。メキシコらしいカラフルでポップな皿やタペストリーなどがお勧めです。また、ホテルカリフォルニアのラウンジで喉を潤すこともできます。

WILD AND FUN DIVE IN

LAPAZ!

メキシコ・ラパスで

陽気にダイビング!

Web-lue 2010. Summer



Information Link <http://www.wtp.co.jp/area/lapaz/index.html>